

つくるぞ・食べるぞ・力もち！

2015鷹巣もちつき大会

1月18日、「2015鷹巣もちつき大会」が鷹巣地区の観福寺で開催され、地区住民など約160人が参加しました。この催しは、地域のお年寄り子どもたちの交流を図ろうと、たかのすはっぴ会（森岡孝一会長）が毎年開催している恒例行事です。「今日一日、笑顔で過ごしてください」と森岡会長のあいさつでスタート。子どもたちが地域の大人たちから餅つきや昔遊びなどを教わり、楽しい一時を過ごしました。参加した小学生のひとり「自分たちでついた餅はおいしかったです。また来年も餅つきをしたい」と楽しそうに話してくれました。



▲大人たちの手助けで餅つきに挑戦する子どもたち

郷土の伝統と風習を伝える

第12回冬の検断屋敷まつり

1月11日、小原地区の冬の恒例行事「第12回冬の検断屋敷まつり」（検断屋敷まつり実行委員会主催）が開催されました。この日は、来場者が木臼ときねを使ってついたもちを紅白に染めて丸め、ミズキの木に飾り付ける「だんご刺し」や無病息災を願って「暁がゆの会食」、「年頭メッセージ付き風船飛ばし」などを行いました。同会の高橋視会長は「近年、風習が薄れつつありますが、このまつりを続け、子々孫々に伝えていきたい」と話していました。また今回は、登米市から視察団14人が訪れ、来場者と一緒にはつりを楽しんでいました。



▲今年1年の無病息災を願う「だんご刺し」を体験する来場者

今年1年が良い年でありますように

北保育園で団子さし

1月9日、お正月の伝統行事「団子さし」が北保育園で開催され、3～5歳児34人が参加しました。同園では、毎年恒例となっているこの行事。地元の沖自治会の皆さんも手伝いに訪れました。

団子にするための餅つきに挑戦した園児は「ヨイショ～！」と元気な声を掛けながら、きねで餅をつきました。ついた餅は赤や緑、黄色に染めて丸い団子に。今年1年が良い年になるようにと願いを込めて、ミズキの木の一つずつ丁寧に飾り付けました。最後は、みんなでお餅を食べながら、小正月を祝いました。



▲願いを込めて、ミズキの木に団子を飾り付ける園児

今年1年明るく元気に過ごそう

白石市手をつなぐ育成会 新年を祝う会・成人を祝う会

1月12日、障がいをもつ子どもとその家族でつくる「白石市手をつなぐ育成会」（巨泉猛会長）が「新年を祝う会・成人を祝う会」を中央公民館で開催しました。新たに成人となったのは巨理允さんと川井佑太さん。都合により出席できなかった2人ですが、プロフィールや成人になっての感想などが紹介されました。新年を祝う会では、巨泉会長が「今年も明るく元気に過ごしましょう」とあいさつした後、障がいをもつ子どもたちを中心としたダンスユニット「ちゃれんじど」が「ようかい体操第一」などの曲に合わせたダンスを披露しました。



▲出席者全員で記念撮影。新年を祝いました

無病息災を願って

武家屋敷で「七草の会」を開催

1月7日、「七草の会」を武家屋敷で開催しました。この催しは新年の恒例行事で、ヘルスメイト白石の皆さんが調理を担当。セリ、ナズナなど春の七草を「七草のうた」を口ずさみながら調理し、仕上げに小さな餅を入れて作り上げました。出来上がった七草粥は、訪れた観光客などに振る舞われ、準備した150食は午前中のうちに無くなりました。七草粥は、お正月のご馳走に疲れた胃腸をいたわり、青菜の不足しがちな冬場の栄養補給をする効用があり、この日（松の内の最後の日）に七草粥を食べることで、新年の無病息災を願うようになりました。



▲囲炉裏を囲み七草粥を味わう訪れた人たち

ゆったりと新春の一服

碧水園で新春茶会

1月18日、初釜「新春茶会」（白石茶道会主催）が古典芸能伝承の館碧水園で開催されました。この日は20人が参加し、お正月ならではのしつらえをした茶室で、ゆったりと初春のお茶を楽しみました。茶室には、床の間に「1年を丸く穏やかに過ごす」という意味を込められた掛け軸や、鶴首の花入に挿した太神楽椿、今年の干支である「羊」をモチーフにした香合などが美しく飾られ、参加者の目を楽しませました。

参加者は「新年からおいしいお茶をいただけて幸せな気持ち。また参加したい」と笑顔で話してくれました。



▲新春の清々しい茶室で一服する参加者

粘り強く「大学合格」へ 必勝白高！

白石高校PTA合格祈願力餅

12月21日、受験生の合格を祈願した餅つきと「力餅」の配布が白石高校で行われました。白石高校PTAが主催したこの催しは、これからの受験シーズンに「餅」のように粘り強く取り組み、大学合格をつかみ取ってほしいという思いを込めて実施されました。

生徒たちは厳しい冷え込みにも負けず、合格を願い元気に餅つき行いました。生徒がついた餅は、その場で雑煮にして振る舞われ、全校生徒に配られました。

おいしい餅を食べて、おなかも心も満たされた受験生。合格目指して頑張ってください！



▲合格の願いを込めて餅つきをする生徒たち

新年の誓い新たに

新春を寿ぐ

1月6日、新春恒例の「新春を寿ぐ市民の集い」をホワイトキューブで開催しました。この集いには、市民や市内の事業所の方など約350人が参加。平成26年春・秋の叙勲の栄に浴された方々やそのご家族に記念品と花束が贈呈され、参加者全員で受章をお祝いしました。風間市長は「市勢の発展があるのは受章者をはじめとした市民の皆さまのおかげ。これからも市勢発展のため、ご支援とご協力をお願いします」とあいさつ。参加者は、新年を祝いながら親ほくを深め、白石市の名が全国に響き渡るよう頑張ろうと誓い合っていました。



▲叙勲の栄に浴された方々のご家族